



ほいくえんだより

R6.2.20 上郷保育園

何かあるかな・・・？

春はもうすぐ・・・

み～つけた！



今年の冬は雪のない戸外遊びを楽しんでいます。気温が上がり、天気の良い日が続いたので、「春を探そう！」と子どもたちは張りきって外へと向かいました。フェンス側を歩いたり、木の近くを観察したりと子どもたちは何かないかと探していました。

春にちなみ、小さな花を見つけた子やフキノトウを見つけた子もいましたが、中には面白い形の石や「これ、クレヨンだよ」と書くことができる石を見つけた子もいました。

農村公園の斜面を喜び、降りたり登ったりを繰り返し楽しむ姿も見られます。また、折れた松ぼっくりの木を東屋のテーブルに乗せ、松ぼっくりを枝で割ろうとしたり、水の溜まっている所を見つけ、枝でかき混ぜて遊んだり・・・と子どもたちは遊び自体も見つけていることに感心です。自然の物だけを使って遊び出す力がついているんですね。



枝を使い、地面をゴソゴソしていました。
何をしているのかと様子を見てみると
「緑の取ってるの」
「だって、これ毒だから」
と言って、出始めた草をある程度取り終わると「フ～」とホッとしたようにひと息ついていました。



園庭からスコップを持ってきました。
「なんかへびみたいなの、いるんだよ」
と言って、地面を掘り始めました。
へびみたいなの…は、木の根っこでした。
動くこともないのですぐに止め、
「次、あっちだ！」
とその場からいなくなりました。

「カタツムリの背中の中のグルグルあった！」
と見せてくれた子がいました。
保「ホントだ。身体はどこにいったんだろう？」
「風に飛ばされたんじゃない。あ、
わかった！ナメクジに変身したのかも…」



雪はなくても冬の遊びも
楽しんでいます！